



子どもたちの未来へ今をつなぐ 暮らしの土台を築き、夢を支える

1947年の創業以来、福祉やLPガス、セメントなど暮らしを支える事業を展開してきた《株式会社はしまや》。今年には本社移転とリブランディングを実現し、豊かな環境づくりに一層力を注ぐ。

46

LEADING COMPANY

フレイル予防事業を開始
洗練された新社屋も完成

「はしま」という言葉の意味をご存知だろうか。出雲弁で昼食と夕食との中間食（おやつ）を指し、箸と箸の間といういわれもある。社屋移転を機にリブランディングを試みた秦靖英社長は、自社の名前に込められた思いを再認識するところから始めた。「はしま＝おやつには、食事と食事の間をつなぐ」という意味があります。新生《はしまや》は、「子どもたちの未来へ今をつなぐ」「家族や社会の間をつなぐ」「豊かさというおやつを大事にする」という理念の下、この山陰で、子どもが夢を諦めることなく健やかに成長できる未来を実現したいと考えています」と熱く語る。

戦後もなく、石炭の販売で創業し、セメント販売やLPガス販売などに事業を拡大。グループ会社では生コンの製造販売も担当などとして地域のインフラ整備に寄与してきた。一見つながりがなさそうな福祉業界との関わりは、LPガス販売を通じて自然な流れで生まれていった。スタッフが集金や点検などで利用者宅を訪れると、困りごと相談のような形でさまざまな依頼を受けるように。そのうち福祉用具に関する問い

合わせなどが増えたため、事業開始に必要な指定居宅サービスと指定介護予防サービス事業者の指定を受け、2010年から福祉用具のレンタル・販売をスタートした。

同社の福祉事業には、「福祉用具を売らない福祉用具屋」という理念がある。その真意を秦社長に尋ねると、「福祉用具って介助や介護が必要な人が主に使うもの。言い方を変えれば福祉用具屋は、お年寄りさんの体の状態が悪くなった方が儲かるわけです。でも、それは会社の理念と外れています。いつかはもしかしたら介護用品が必要になるかもしれない。でもできるだけ福祉用具を売らなくて済むようなお手伝いができるないだろうかと考えるようになりました」と語る。そんな中、25年7月から安来市内のショッピングセンター内で新たに始めたのがフレイル予防事業「ひかりサロン」だ。

要介護のリスクが高い高齢者を対象にしたショッピングリハビリで、安来市の委託を受けて実施。送迎付きで商業施設に出かけ、ポール運動や脳トレなどを行った後、施設内のウォーキングや買い物をして、一連の動作を通じて楽しく体と頭を動かしてもらおう。利用者からは「運動して体調が良くなるのはもちろん、集いの場ができてうれしい」などといった



安来市の委託事業として2025年7月から始めたフレイル予防事業「ひかりサロン」。プレーナ安来店内にあり、簡単な運動や脳トレの後、買い物を楽しんでもらうショッピングリハビリで、利用者からは好評の声が上がっている

地域を豊かにするだけでなく、社員の働く環境整備にも力を入れる。生コン工場事務所をリニューアルした新社屋は、ウッドディーな空間の中にパランスよく緑を取り入れ、まるでおしゃれなカフェのような雰囲気。一角には畳コーナーもあり、従業員の休憩や商談に重宝している。「暮らしを支えるさまざまな事業を通じ、誰もが自分らしく活躍できる地域社会づくりの一端を担いたい」。若手社長の声に熱がこもる。

株式会社 はしまや

創業 昭和22(1947)年4月1日
 代表者 代表取締役 秦 靖英
 社員数 8名(男4名 女4名)
 本社 島根県安来市吉佐町1017-1

事業内容

生コン・セメントの販売、LPガス販売、福祉用具レンタル・販売、住宅改修、ショッピングリハビリ

勤務地(採用エリア)

安来市

採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

無

採用担当者からあなたへ

「こどもが夢を諦めず、健やかに育つ未来」を目指して、地域の暮らしを支える仕事をしています。お年寄りの健康、安心できる生活、笑顔あふれるまちづくりなど、すべて子どもたちの未来につながっています。想いに共感し、一緒に行動できる仲間を待っています。あなたの力で、地域と子どもの未来を変えていきましょう。

代表取締役
秦 靖英さん

採用に関するお問い合わせ先

0854-21-0858

公式サイトは
こちら

Instagramは
こちら



各種福祉用具をレンタル・販売し衣食住を支援

車いすや歩行者、手すりやスロープなど介護保険を利用できる13品目のレンタル対象商品や5品目の購入補助商品を始め、保険対象外のさまざまな商品を取り扱っている。利用者の状況やニーズに合わせ、適切なサービスを提案することで高齢者の衣食住を支える。



LPガスを供給トイレや台所など改修工事も

安来市を中心にLPガスを供給。液化石油ガス設備士による配管や器具設置などの新設工事のほか、LPガスを安全に使用できるよう法律で定められた供給機器の期限管理、各種機器の交換作業なども担っている。トイレや台所などの改修工事も請け負っている。



安心して暮らせる環境の土台を造る生コン・セメント

地域住民の安全安心な環境の土台をつくる生コンやセメント。同社が扱う生コンはJIS規格に基づく高品質な製品だ。グループ会社2社による製造販売を通して地域のインフラ整備を支え、「こどもが夢を諦めることなく健やかに成長できる未来」に貢献する。



“つなぐ”をかたちに——はしまやの3つのフィールド

ニーズを超えた福祉サービスを提案し、豊かな暮らしをサポート

介護や介助が必要な人の日常生活や機能訓練をサポートする福祉関連商品。はしまやでは、車いすや介護ベッドなど介護保険制度を活用してレンタルできる商品から、軽失禁下着などの販売、住宅改修まで幅広いサービスを提供している。福祉業界約20年の柳楽さんは、「わずかな支援で困りごとが解消することも。暮らしをより良くするサービスに徹しています」と話す。上がり框の手すりの位置が低く、バランスを崩しがちだった人には適切な高さの手すりを用意することで移動のしやすさが劇的に改

善。エアマットの機種を変えることで床ずれを解消したこともある。完全バリアフリーの施設と違って、自宅で用いる福祉用具の選定には本人の状態と住環境に応じた提案が求められる。20年以上の経験がある秦さんは、「今は豊かな衣食住を支えるさまざまな福祉用品があります。ご依頼通りに商品を提供するだけでなく、ご本人やご家族へのヒアリングを経てニーズを超えたサービスの提案を目指しています」と話す。暮らしを支える縁の下の力持的存在だ。

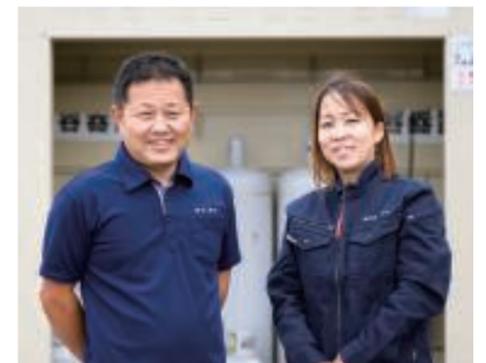


福祉事業
柳楽 裕介さん 秦 栄治さん
入社6年目 入社1年目

LPガス供給から各種改修まで。暮らしの質を上げて笑顔創出

安来市内をメインにプロパンガス供給事業を担い、各種器具の期限管理や交換、新設工事などを行っている。介護職から転職した田中さんは、3年前に入社。「LPガスの知識はまったくなかったのですが、皆さん丁寧に教えてくださり、国家資格を取得することができました。社員の挑戦を応援してくれる職場なので、今後もさらなるスキルアップを目指したいです」。現在は法定点検結果のデータ入力や、器具の取り替え工事を行う。[LPガスのお客さまからガス事業以外のお仕事をいただくことも。日頃のつなが

りが新たな仕事につながっていて、いろいろな経験をさせてもらっています]「対応の速さ、頼みやすさからか、普段から付き合いのある当社に相談いただくことが多いです」と話すのは梅林さん。過去に建築関係の事業も行ってたため、社内に実績があり、トイレの新設や流し台の修繕、キッチンの床の張り替えなどを請け負うことも少なくないという。液化石油ガス設備士の資格を持つ梅林さんは、新設工事や配管工事を主に担当。「安全第一で暮らしを支えています」



LPガス事業
梅林 俊宏さん 田中 かおりさん
入社6年目 入社3年目

安心して暮らせる環境の土台を造り出す生コン・セメント事業

インフラストラクチャーの主要材として、防災や減災、安全・安心・快適な社会づくりに貢献しているコンクリート。創業間もない頃から生コンの原材料であるセメント販売を担ってきたはしまやは1969年、設立したグループ会社で生コンの製造販売をスタートした。現在は同社を含む5社が共同運営する伯耆生コン株式会社と、3社共同の株式会社中海生コンに製造を委託する形で運営の一役を担っている。生コン・セメント事業は、会社の売り上げの約9割を占める主軸事業だ。

大学卒業後、祖父が創業した会社に就職し、2018年に代表取締役に就任した秦靖英社長。新たな経営理念として「こどもが夢を諦めることなく健やかに成長できる未来」を掲げた。「生コンやセメントは構造物の基礎を作る重要な材料。地域の人々が安心して暮らせる環境の土台をつくることで、子どもたちの未来を支えることにつながります」。近年、人口減少によって需要が減少傾向にあるが、道路や港湾の修繕工事など今なお高いニーズはある。「インフラ整備に不可欠な存在であることに変わりありません」



代表取締役社長
秦 靖英さん